

このリストは、図書館の職員が、中学生のみなさんに  
読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館	北品川 2-3 2-3	☎3471-4667
二葉図書館	二葉 1-4-2 5	☎3782-2036
荏原図書館	中延 1-9-1 5	☎3784-2557
南大井図書館	南大井 3-7-1 3	☎3761-6780
源氏前図書館	中延 4-1 4-1 7	☎3781-6273
ゆたか図書館	豊町 1-1 7-7	☎3785-6677
大井図書館	大井 5-1 9-1 4	☎3777-7151
五反田図書館	西五反田 6-5-1	☎3492-2131
大崎図書館	大崎 2-4-8	☎3495-0660
八潮図書館	八潮 5-1 0-2 7	☎3799-1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

2016 . 10 発行



# Let's Read!

中学生



「しばしとどめん ほくさいはごろも 北斎羽衣」

花形 みつる 作  
理論社

品川区立図書館

## 『グッドジョブガールズ』

草野 たき 著  
ポプラ社



あかりと由香と桃子は、仲良しは似合わない「悪友」と呼び合っている。いつもいっしょにいるけれど、家族や恋の悩みは絶対に話さない。あかりは、そんな関係に、物足りなさを感じていた。

そんな中、由香から小学生最後の思い出づくりに、全国大会優勝を目標に、チアダンスをしようと提案される。

## 『しばしとどめん ほくさいはごろも 北斎羽衣』

花形 みつる 作  
理論社

ある名月の夜、為一の父親が老人を背負って帰ってきた。その老人を、あの有名な「葛飾北斎」だと言い張る父親。いっこうに絵を描こうとしない老人を疑いながらも、世話をするが…。

老人は、本当に北斎なのか？現代に北斎が現れた目的とは？時空を超えた不思議な物語を読んでみませんか。



## 『赤いペン』

澤井 美穂 作 中島 梨絵 絵  
フレーベル館



町でささやかれている、不思議なペンのうわさ。中学二年の夏野は、うわさの真相を知りたいと、このペンについて調べ始める。そんな夏野を、町の文学館に務める草刈さんや、クラスメイトの春山も手伝ってくれる。

ペンを拾った人たちから話を聞くと、うわさとはちがう物語が隠されていた。

## 『ABC！曙第二中学校放送部』

市川 朔久子 著  
講談社

曙第二中学校放送部は、部長の古場と副部長の本庄の二人だけ。新入部員が入らなければ、部がなくなってしまう。そこで先生の提案で、勧誘のため、昼の放送をする。

その後、新入部員三人が入部し、放送コンクール全国大会に出場することになった。



## 『ここで土になる』

大西 暢夫 著  
アリス館



熊本県のいつきむらとうじちくたぐち五木村頭地地区田口にある、大イチョウの周りには、お堂や広場、共同墓地があり、村を見守ってきた。

そんな五木村に、ダム建設の話がもちあがる。村人たちが次々と村を去り、残ったのは尾方さん夫婦と大イチョウだけとなった。

## 『スモーキー山脈からの手紙』

バーバラ・オコーナー 作 こだま ともこ 訳  
評論社

スモーキー山脈国立公園にあるホテル、「スリーピータイム・モテル」。

このホテルの主人アギーお婆さんは、ホテルを売ろうとしていた。そんなとき、4つの家族が、ホテルへやってきて…。

その出会いが、アギーお婆さんを素敵な結末へと導いてくれます。



## 『渋谷ギャル店員 ひとりではじめてのアフリカボランティア』

栗山 さやか 著  
金の星社



渋谷でギャル店員をしていた著者は、旅をしたアフリカ・モザンビークで、多くの人が病気や貧困に苦しみ、亡くなる現実を目の当たりにする。そして、ひとりでNPO「アシャンテママ」を設立し、ひたむきに支援活動をはじめた。

彼女の活動を追ったノンフィクション作品。

## 『コービーの海』

ベン・マイケルセン 作 代田 亜香子 訳  
鈴木出版

事故で義足となってしまった少女、コービー。以来、義足であることを受け入れられずにいた。

そんなコービーだったが、座礁したクジラの親子を助けたことで、周囲との関係に次々と変化が訪れていく…。

そして、コービーの人生が、再び動き始める。



## 『あまねく<sup>しんりゅう</sup>神竜住まう国』

荻原 規子 作  
徳間書店



10代で伊豆に流された源頼朝は、日々命をねらわれ、生きる気力を失いかけていた。そこへ、かつて頼朝を救った草十郎たちが現れ、共に暮らし始める。

しかし、その土地の若者と争った頼朝は「大蛇の洞窟」に投げこまれてしまう。そこで、土地神である神竜を前にした頼朝は、本来の力を取り戻していく。

## 『美雨13歳のしあわせレシピ』

しめの ゆき 作 高橋 和枝 絵  
ポプラ社

ある雨の日、家に帰った美雨を待っていたのは、いつもと違う風景。家事などしたこともないお父さんが、台所で本格的な料理をしていた。お母さんが家を出したのだ。それから美雨は、今まで知らなかった家族のあゆみを知っていく。

美雨が見つけた、しあわせになる方法とは？



## 『イーダ<sup>うつく</sup>美しい化石になった<sup>ちい</sup>小さなサル<sup>ちい</sup>のものがたり』

ヨルン・フルム／トルシュタイン・ヘレヴェ 文  
エステル・ヴァン・フルセン 絵  
河野 礼子 監修 遠藤 ゆかり 訳 創元社



古い時代の生き物たちを研究する学者たちは、驚きの声をあげました。

「なんて美しい化石なんだろう。なんて完璧なんだ！」

これは、人間もまだいない4700万年前の、ちいさなちいさな子ザルの化石のものがたりです。

## 『月にハミング』

マイケル・モーパーゴ 作 杉田 七重 訳  
小学館

イギリスのブライアー島に住む少年アルフィが、父と漁をしていると、無人であるはずのシリー島から、何かの音が聞こえてきた。行ってみると、話も出来ず、記憶を失った少女に出会った。家に連れて帰り、家族として過ごすうちに、少女は少しずつ回復していくのだが…。



